



指導のポイントをつかんで 複式学級の特性を生かそう

複式学級には、単式学級にはない指導の工夫があります。その工夫のポイントをつかんで複式学級の「強み」を生かし、主体的に学ぶこどもを育成しましょう。単式学級で実践している先生方にも必見です！

複式学級における直接指導と間接指導

複式学級は同じ教室で異なる学年のこどもが、それぞれの内容について学習します。教科・単元（題材）の特質やこどもの実態に応じて、直接指導と間接指導を効果的に組み合わせることが大切です。

直接指導（※）

教師がこどもたちと
直接関わりながら進める

複式学級は、一方の学年に直接指導する場合、もう一方の学年には間接指導が必要だね。



間接指導（※）

一方の学年に教師が直接指導しているとき、他方の学年に学習の進め方を事前に理解させ、こどもたちだけで学習を進めさせる

間接指導というと、例えば、下学年を直接指導するために、上学年へ先に指示を出しておくような場面を思い浮かべがちです。しかし、それでは上学年は指示どおりに動いているにすぎません。大切なのは、上学年が自分たちで学習を進め、主体的に学ぶことです。こどもが主体的に学ぶことで、教員は2学年の学習の様子を見渡しなが、必要な支援をしていくこともできます。

※出典 公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引より 令和8年8月5日 文部科学省

主体的な学びを支える学習環境を整えよう

2学年を指導する複式学級では、一方の学年を指導している間も、他方の学年のこどもたちが自ら学びを進められるよう、学習環境を整えることが重要です。そうすることで、教員が常にこどもの学びの姿を把握しやすくなることにつながります。学習環境を充実させ、複式学級での学びをより豊かなものにさせましょう。

【座席配置】

- ☐互いの表情が見える
- ☐同一学年は、いつでも話し合いができる
- ☐同一学年の声がよく聞こえ、もう一方の学年の学習を妨げない

※下の絵を参考に、□にチェックしてみてください。

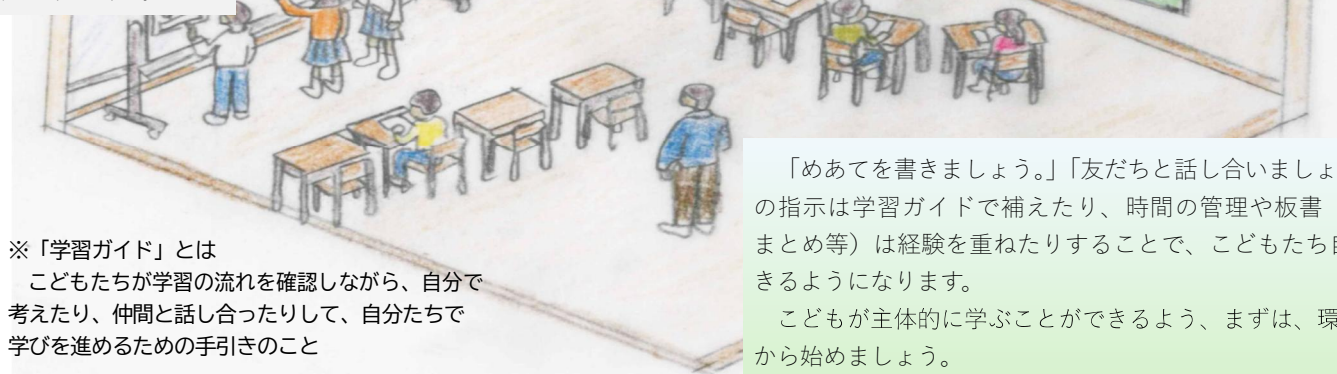
【教室掲示】（必要に応じて）

- ☐学習ガイド
- ☐学習の足跡

【教材・教具等配置の工夫】

- ☐ホワイトボード
- ☐電子黒板
- ☐学級図書
- ☐学習棚

- #### 【児童生徒机の上】 （必要に応じて）
- ☐学習ガイド
 - ☐デジタルタイマー



※「学習ガイド」とは

こどもたちが学習の流れを確認しながら、自分で考えたり、仲間と話し合ったりして、自分たちで学びを進めるための手引きのこと

「めあてを書きましょう。」「友だちと話し合いましょう。」等の指示は学習ガイドで補えたり、時間の管理や板書（めあて、まとめ等）は経験を重ねたりすることで、こどもたち自身でできるようになります。

こどもが主体的に学ぶことができるよう、まずは、環境づくりから始めましょう。

お詫びと訂正

創刊号「和歌山県における複式学級の現状」の小学校数に誤りがありました。お詫びして訂正させていただきます。

誤 72校/222校
正 71校/222校

編集後記

「WakaFuku」第2号では、「直接指導と間接指導」と「学習環境」を取り上げました。いずれも主体的な学習者育成の視点から、単式学級の指導にも生かしていただけるのではないかと考えています。「WakaFuku」が少しでも先生方のお役に立てていれば幸いです。



本通信のデータ
閲覧はこちらから